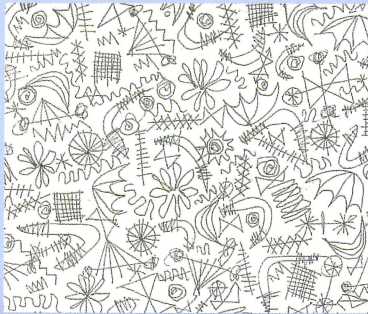


市制50周年記念

アートでたんけん! 絵画の世界へ



浅野弥衛「無題」(部分)1988年



大沢鉦一郎「少年」1918年



奥谷 博「閉ざされた風景のある静物」1974年



寛 忠治「自画像14」1930年



北川民次「水浴」1929年



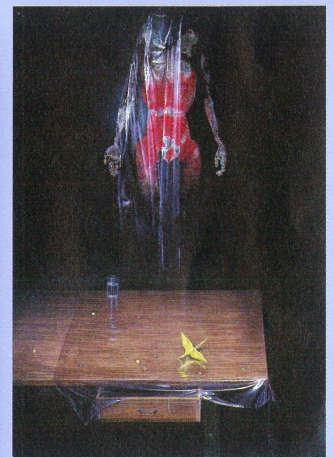
中村 宏「庭」1963年



下村良之介「月明を翔く<稀>」1987年



中村正義「女」1963年



星野真吾「暗い部屋」1989年

アートでたんけん! 絵画の世界へ

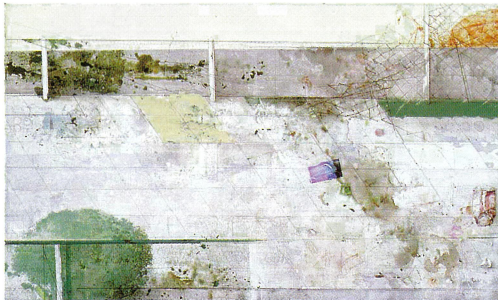
刈谷市美術館のコレクションは、定期的な収蔵品展・所蔵品展や企画展のなかで少しずつ公開してきました。この展覧会では、はじめてコレクションをまとめた形で紹介します。

未公開作品もふくみながらコレクションを中心とする約60点の絵画作品を展示します。

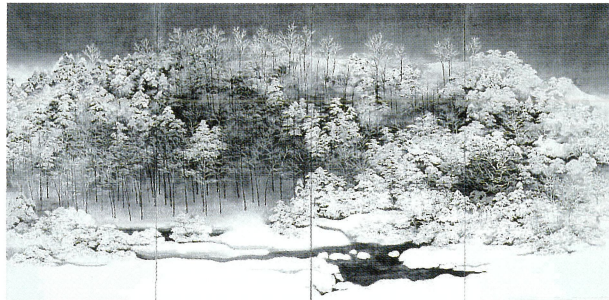
絵画と一口にいても、表現方法をはじめその種類はさまざまです。1階の展示室では、作品をつくりだしている大切な造形要素である線やかたち、色、質感などに着目します。これらのひとつを注意しながらめたり、他の作品と比べたりしながら、それぞれの作品のなかに秘めた豊かな世界をひも解いていきます。

また、2階の展示室では、身のまわりから、ふだん何気なくながめている森や大地、街を切り口として作品を紹介し、さまざまな手法で表現した作品、そこから発想して新たな世界をつくりあげた作品を、素描など制作の軌跡もふくめて展示し、作品鑑賞のイメージをふくらませていきます。

あなたもゆったりとした気持ちで絵画の世界を旅してみませんか。



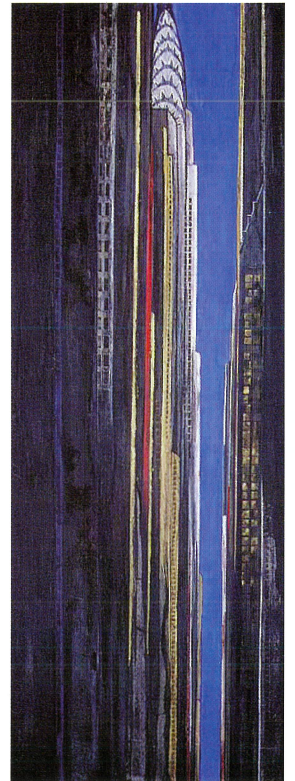
植田伸也「通り過ぎた風景」1979年



平川敏夫「暮雪叢林」1988年



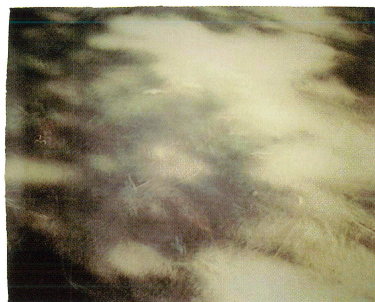
土屋禮一「紅雲譜」1996年



平松礼二「NEW YORK-42ND STREET」1990年



味岡伸太郎「解、あるいは愛知・新城・一鍛田よりの報告」1999年(参考作品)



秋岡美帆「ゆれるかげ」1991年

会期中の催しもの

ワークショップ

大地をたんけん—土で書いてみよう

みなさんは絵をえがくときに何を使いますか。ここではそのような道具を使わずにチャレンジ!。すでに採取してある土を絵の具の代わりにして絵画作品をつくり、みんなで大きな作品を共同制作したり、自分だけのお気に入りをつくりま

講師/味岡伸太郎さん(美術家)

日時/10月1日(日)午前10時30分~午後3時

ところ/美術館研修室 参加費/100円(レクリエーション保険代)

ワークショップ

ながれる、ぼやける…写真から不思議な絵をつくろう

カメラを持って美術館のまわりを散策。シャッターを切るしゅんかんにかメラを動かしたりすると…。さつえいした写真をカラーコピー機で変化させたりしながら夢のような不思議な作品をつくりま

講師/秋岡美帆さん(美術家)

日時/10月9日(月)午前10時30分~午後3時

ところ/美術館研修室、屋外

参加費/600円(材料費・レクリエーション保険代)

※美術館で数台用意しますが、オート機能が解除可能なカメラ(一眼レフ)をお持ちの方はご持参ください。なお、申し込み時にカメラ持参の可否をご記入ください。

子ども・おとなのための ギャラリートーク

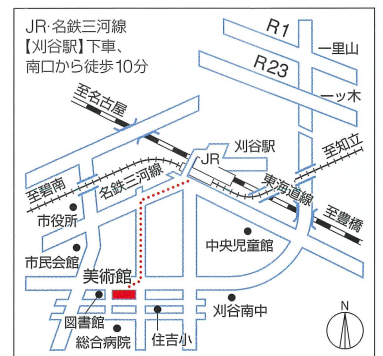
日時/10月8日(日)・10月22日(日)

対象/小学1~3年生—午前10時~

小学4年生~中学生—午前11時~

おとな—午後2時~

※各対象とも40分程度です。



Kariya City Art Museum

刈谷市美術館

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地

TEL0566-23-1636 FAX0566-26-0511

ホームページ

<http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/>

※各ワークショップともに 対象/小学生~大人 定員/20名 申し込み方法/「往復ハガキ」か「FAX」にて、参加したいワークショップ名、参加者名(ふりがな)、住所、TEL/FAX、年齢、学年・学校名・保護者名を記入のうえ美術館までお申し込みください。なお、返信用ハガキにも住所と名前を記入してください。※定員をこえた場合は抽選とし、結果をお知らせします。締めきり/9月18日(月) 必着 あて先/〒448-0852 刈谷市住吉町4-5 刈谷市美術館 FAX0566-26-0511